



2021年5月14日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 グ リ ム ス
代 表 者 名 代表取締役社長 田 中 政 臣
(コード番号：3150 東証第一部)
問 い 合 わ せ 先 経営企画部長 阿 部 嘉 雄
T E L 03-5769-3500

通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2020年6月1日に公表いたしました2021年3月期の連結業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想との差異

2021年3月期連結業績予想と実績値との差異(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 16,853	百万円 2,300	百万円 2,318	百万円 1,546	円銭 67.93
実績値(B)	19,311	1,650	1,745	1,120	49.45
増減額(B-A)	2,458	△649	△572	△425	—
増減率(%)	14.6	△28.2	△24.7	△27.5	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	15,489	2,106	2,168	1,483	65.75

(注) 当社は2020年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 差異の理由

エネルギーコストソリューション事業は電子ブレーカーや各種省エネ設備、事業用自家消費太陽光発電システムの販売が好調に推移し、売上高は当初予想を17.6%上回りました。スマートハウスプロジェクト事業は蓄電池の販売、提携販売が好調に推移し、売上高は当初予想を24.8%上回りました。小売電気事業につきましては、新規契約の獲得が好調に推移し売上高は当初予想を8.5%上回りました。以上より、連結売上高は当初の業績予想を14.6%上回りました。

利益につきましては、小売電気事業において12月中旬から1月下旬にかけての電力取引価格の大幅な高騰の影響によりインバランス料金の精算が約20億円発生し、486百万円のセグメント損失となりましたが、エネルギーコストソリューション事業及びスマートハウスプロジェクト事業が第4四半期において大きく伸長し、エネルギーコストソリューション事業のセグメント利益は当初予想を41.2%上回り、スマートハウスプロジェクト事業のセグメント利益は当初予想を165.1%上回りました。以上より、連結営業利益は当初の業績予想の71.8%、経常利益は75.3%、当期純利益は72.5%となりました。

以 上